

平成27年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発言順位

3月4日(水)

(代表質問)

(1)	国出	拓志	議員	(公明党)P	1
(2)	山崎	雄史	〃	(真誠会)P	2
(3)	出雲	晶三	〃	(政和会)P	3
(4)	中西	礼皇	〃	(次世代明石)P	4
(5)	宮坂	祐太	〃	(民主連合)P	5
(6)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)P	6
(7)	遠藤	恒司	〃	(自由民主党明石)P	7

(一般質問)

(8)	三好	宏	〃	(真誠会)P	8
(9)	木下	康子	〃	(次世代明石)P	9

3月5日(木)

(10)	尾仲	利治	〃	(民主連合)P	11
(11)	辻本	達也	〃	(日本共産党)P	13
(12)	千住	啓介	〃	(自由民主党明石)P	14
(13)	松井	久美子	〃	(公明党)P	15
(14)	永井	俊作	〃	(市民クラブ)P	16

3月6日(金)

(15)	寺井	吉広	〃	(真誠会)P	18
(16)	新田	正彦	〃	(次世代明石)P	19
(17)	北川	貴則	〃	(自由民主党明石)P	20
(18)	尾倉	あき子	〃	(公明党)P	22
(19)	梅田	宏希	〃	(公明党)P	23

※ 順位等については予定です。

平成27年第1回定例会3月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	国出拓志(公明党)
発 言 事 項	<p>1 新年度予算について</p>		
	<p>(1) 3つの柱(①高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して暮らし続けられるまち、②「子どもを産み・育てたい」と思われるまち、③まちのイメージアップに向けたPR)の具体的な内容について</p> <p>(2) 3つの柱をより現実性のあるものにするために、何が必要で、どのようにすればよいと考えているのか。</p>		
	<p>2 地域消費喚起・生活支援型交付金について</p> <p>(1) 事業案は、具体的にどのように検討されているのか。</p> <p>(2) 事業期間は、具体的にどのように検討されているのか。</p> <p>(3) 発行主体は、どのように考えているのか。</p> <p>(4) 市独自の制度設計はあるのか。</p>		
<p>3 平成27年度当初予算における財政指標等について</p>			
<p>(1) 経常収支比率について</p> <p>(2) 基金現在高について</p> <p>(3) 市債について</p>			

(代表質問)

発言順位	2	議員名	山崎雄史(真誠会)
発言事項	<p>1 泉市政の4年間の評価について</p> <p>(1) 市長の自己評価について</p> <p>(2) 施政方針の最後の発言は、4月の市長選挙への出馬の意向と捉えてよいのか。</p> <p>2 新年度予算の基本方針について</p> <p>(1) まちづくりの3つの柱について</p>		

発言順位	3	議員名	出雲 晶三(政和会)
発言事項	<p>1 明石市の財政状況と財政健全化について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 明石市財政の現状と今後について(2) これまでの財政健全化の取り組みと成果について(3) これからの財政健全化の取り組みについて <p>2 地方創生「まち・ひと・しごと創生法」について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 明石市は地方創生「まち・ひと・しごと創生法」を、どのように捉えているのか。(2) 「まち・ひと・しごと創生法」の理念に沿った取り組み方針について		

(代表質問)

発言順位	4	議員名	中西 礼皇(次世代明石)
発言事項	1 経済対策と産業振興について (1) 平成26年度補正予算の事業メニューについて (2) 平成27年度の産業振興策について		

(代表質問)

発言順位	5	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<p>1 景観行政団体への移行と景観計画の策定について</p> <p>(1) 景観法に基づく景観行政団体への移行について</p> <p>(2) 景観計画の策定と新たな景観条例について</p> <p>2 公契約条例について</p> <p>(1) 公契約条例の検討状況について</p>		

(代表質問)

発言順位	6	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>1 国民健康保険について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 国民健康保険料について(2) 国民健康保険料算定における資産割について(3) 国民健康保険の広域化と国庫負担について <p>2 明石駅前南地区再開発事業について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 明石駅前南地区再開発事業の経済効果について(2) 新たな市民負担について		

(代表質問)

発言順位	7	議員名	遠藤 恒司 (自由民主党明石)
発言事項	<p>1 平成27年度予算と市長の取り組み姿勢について</p> <p>(1) 4月の市長選挙への出馬の意向を2月24日の本会議における施政方針とともに表明したと認識するが、その意図は何か。</p> <p>(2) 財政健全化と財政基金の運用について</p> <p>(3) 今期4年間の実績と今後の展開について</p>		

発言順位	8	議員名	三好 宏 (真誠会)
発言事項	<p>1 シティセールスの推進について</p> <p>(1) シティセールスの推進について (要旨) シティセールスの推進事業が、平成26年度補正予算に計上されているが、その内容と今後の取り組みについて聞く。</p> <p>2 コミュニティビジネスの支援について</p> <p>(1) コミュニティビジネスの支援について (要旨) コミュニティビジネスとは、地域の課題や問題点の解決、開発をビジネスという手法で独立して継続的に行い、地域に利益を還元していく手法であり、これからの地域のまちづくりの活性化に最も有効な手法であると言われている。 明石市としてのコミュニティビジネスへの支援に対する考え方を聞く。</p> <p>3 プレミアム付商品券の発行について</p> <p>(1) プレミアム付商品券の発行について (要旨) 個人消費の喚起と、地域経済の活性化を図るために、国からの交付金のうち約3.5億円を活用してプレミアム付商品券の発行を計画しているが、都市間競争を勝ち抜くためには明石市ならではのアイデアや仕掛けが必要になってくる。ただ単なる「バラマキ」ではなく、消費喚起や地域経済の活性化につながる独自の工夫を聞く。</p> <p>4 西明石活性化プロジェクトについて</p> <p>(1) 西明石活性化プロジェクトについて (要旨) 平成23年から、地域と行政が協働して西明石地域のまちづくりを進めている。平成27年度は、現在策定中の「まちづくりの姿」をもとに、市が主体となって地域共通の最優先課題の解決に向けて計画策定に着手するとしているが、これまでに時間を要した経緯とスケジュールも含めた今後の方向性を聞く。</p>		

発言順位	9	議員名	木下 康子(次世代明石)
発言事項	<p>1 (仮称)東部中学校給食センターについて</p> <p>(1) 工事の中止及び契約解除に要した損失額と責任等を問う。</p> <p>(2) 今後の対応はどうか。 (1)、(2)の要旨) 工事の出来高精算や契約解除に要した損失額はいくらか。このことに対する責任と市民からの理解はどのようにして得るのか。また、今後の対応について問う。</p> <p>2 第6期介護保険事業計画について</p> <p>(1) 現在の在宅介護支援センター12カ所全てを地域型地域包括支援センターに移行した場合と約半数に集約した場合とのコスト比較は行うのか。</p> <p>(2) 新たに設置する地域型地域包括支援センターの業務に関する委託契約については公募で競争入札を行うのか。</p> <p>(3) 基幹型地域包括支援センターは設置するのか。 (1)~(3)要旨) 当計画では、平成29年度までに地域型地域包括支援センターの体制を整備するとなっている。現在の在宅介護支援センター12カ所がそのまま地域型地域包括支援センターに移行するとなれば事業費が大幅に増える。介護保険料抑制の観点からも地域型地域包括支援センターの設置は必要最小限にするべきである。また、在宅介護支援センターの運営委託について、約20年間も随意契約を継続してきたことは問題であり、公募による競争入札を行うべきである。</p> <p>3 斎場管理センターについて</p> <p>(1) 霊園所有者への水道の給水について (要旨) 斎場管理センターが、隣接する民間の霊園所有者へ無料で給水を行っていることの経緯と実態を問う。</p> <p>(2) 火葬場棟の雨漏りは改善されたのか。 (要旨) 火葬場棟工事の瑕疵担保責任の期間において、雨漏り等の改善は行われたのか。</p>		

発言順位	9	議員名	木下康子(次世代明石)
発言事項	<p>4 明石駅周辺のトイレ整備について</p> <p>(1) 明石駅周辺に早急なトイレ整備を。</p> <p>(要旨) ステーションプラザ明石の改修工事により、当施設にあった全てのトイレがなくなり市民の皆さんが困っている。明石市の玄関口にトイレがない状態であり、観光シーズンを迎えることから、早急に何らかの対策を講じなくてはならない。</p>		

発言順位	10	議員名	尾仲 利治(民主連合)
発言事項	1 少子高齢化社会への取り組みについて		
	<p>(1) 明石市の人口動態をどのように捉えているか。 (要旨) 明石市の人口は激増期もあれば減少期もあったが、どのように変遷してきたか。</p> <p>(2) 「子育て・教育」への取り組みは。 (要旨) 未来ある子どもたちへの「子育て・教育」について、子どもたち、親への安心感をどのように築いていくのか。</p> <p>(3) 高齢者への福祉政策の対応は。 (要旨) 将来、さらに高齢者が増加し、特に65歳以上の占める割合は今後ますます増加すると予想されている。高齢者への福祉政策はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 住環境への取り組みは。 (要旨) 安心して暮らし続けられるまちとしての魅力をどのように創出していくのか。</p> <p>(5) 明石市の人口維持・増加を目指す取り組みについて (要旨) 明石市の人口について、どのようなビジョンを持っているのか。</p>		
	2 子育てしやすいまちづくりについて		
	<p>(1) 子どもを産み、育てたいまちとは、どのようなまちを言うのか。 (要旨) 市長の言うキーワードの一つに「こども」があるが、子どもを育てやすいまちづくりとは、どういうことを言うのか。</p> <p>(2) 待機児童ゼロとなるのはいつか。 (要旨) 夫婦が共働きをすることが当たり前の状況にある今日、どの自治体も待機児童ゼロを目指して取り組んでいるが、明石市はいつ待機児童ゼロとなるのか。</p> <p>(3) 認定こども園について (要旨) 認定こども園への取り組みについて、実施への展望を問う。</p>		
	3 子どもたちが生き生きと学ぶことができる教育環境づくりについて		
	<p>(1) (仮称) 東部中学校給食センター用地について (要旨) (仮称) 東部中学校給食センター用地は、現在、工事を取りやめ更地となっているが、同用地を今後どのようにしようとしているのか。</p>		

発言順位	10	議員名	尾仲利治(民主連合)
発言事項	<p>(2) (仮称)西部中学校給食センター用地について (要旨) (仮称)西部中学校給食センターは汚染物質が検出されたが、現在は安全であるとされている。現在は使用されていない隣接するし尿処理施設をどうするのか、その方針について問う。</p> <p>(3) 東部、西部の中学校給食センター用地について (要旨) 第三者委員会を設置して安全であることが確認できれば、安全宣言を出す予定はあるのか。</p> <p>(4) 各学校に栄養士を配置することについて (要旨) 中学校給食を実施するに当たり、どの学校にも栄養士は必要である。アレルギー対応などきめ細やかな対応が求められるのではないか。</p> <p>(5) 各小中学校へのエレベーター、エアコンの設置について (要旨) エレベーターは毎年1校から2校設置されているが、エアコンの普通教室への設置は全くされていない。今後の展望について問う。</p>		
	<p>4 農業・漁業の振興について</p>		
	<p>(1) 生産緑地制度の導入について (要旨) 生産緑地制度の導入は、都市において農業を守り育てる良い方法だと思うが、30年間営農をしなくてはならないことを考えると、農水産課との十分な協議が必要になる。市の考え方を問う。</p>		
	<p>(2) 農業における担い手不足について (要旨) 農業における担い手不足は極めて深刻である。後継者不足は20年ほど前から言われていたが、改善は全く見られない。市の考え方を問う。</p>		
	<p>(3) 明石市における農業・漁業の将来的なビジョンについて (要旨) 明石市の農業・漁業については、どのような展望を持って取り組んでいこうとしているのか。</p>		
	<p>5 文化・芸術の振興について</p>		
	<p>(1) 「本のまち明石」を実現する方策について (要旨) 「本のまち明石」に取り組む姿勢は大変大切であるが、幼少期から、小中学校、高校、一般市民への啓蒙をどのように進めていくのか。</p>		
	<p>(2) 市民が気軽に利用できるギャラリーについて (要旨) 市民が気軽に利用できるギャラリーが人口の割に少ない。市の考え方を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 入札制度について</p> <p>(1) 今年度の入札不調・入札中止の件数について (要旨) 入札不調・入札中止となった工事の件数が多いようだが、市はどのように考えているか。</p> <p>(2) 制度の見直しと今後の対策について (要旨) 入札不調・入札中止となった場合の再発注の仕組みなど、現在の制度を見直す必要があると考える。</p> <p>2 中学校給食について</p> <p>(1) (仮称) 東部中学校給食センターについて (要旨) 現在の状況と今後の取り組みを問う。</p> <p>(2) (仮称) 西部中学校給食センターについて (要旨) 安全性の確認と今後の進め方を問う。</p> <p>(3) 今後の中学校給食の進め方について (要旨) 実施方式を含め再検討するべきである。</p> <p>3 選挙管理委員会について</p> <p>(1) 二連ポスターについて (要旨) 二連ポスターに対する選挙管理委員会の認識を問う。</p> <p>(2) 事務局職員の不可解な対応について (要旨) 神戸新聞(2月21日付朝刊)の報道により明らかになった市長選立候補予定者の催しを告知する二連ポスターへの事務局職員の対応を問う。</p> <p>(3) 特定の候補者を支援することについて (要旨) 事務局職員は、市が発注する業務を請け負う業者に対し「特定の立候補予定者のポスターを張っていると、今後の仕事に支障がある」と発言し、ポスターを剥がすよう促したそうだが、本市において過去にそのような事例はあるのか。</p> <p>(4) 政治資金パーティーについて (要旨) 市民を招待し、無料で饗応接待することは、公職選挙法第199条の2に抵触するのではないか。</p> <p>(5) 公平・公正な事務の執行について (要旨) 選挙管理委員会委員長の認識を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	<p>1 今後のアベノミクス地方創生への対応について</p> <p>(1) 本市の公共投資への対応について (要旨) 今後、地方創生として公共投資がふえる可能性がある。地域ブランドの発信元となる漁業への支援や、道路、橋の補強等を多く抱えているが、今の体制で対応できるのか。また、市内業者で対応していただきたいと考えるが、見解を聞く。</p> <p>2 学校教育について</p> <p>(1) 道徳教育の推進について (要旨) 市としても道徳教育を推進しているが、家庭での教育をどのように推進しているのか。</p> <p>(2) 文部科学省・兵庫県教育委員会からの通達等について (要旨) 通達等があればしっかりと対応するのが普通であるが、本市の対応を問う。</p> <p>(3) 学校図書として問題である「はだしのゲン」について (要旨) 学級文庫として置かれていた「はだしのゲン」のその後の対応を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>1 議案第48号 平成26年度明石市一般会計補正予算(第7号)「地域住民生活等緊急支援のための交付金」活用事業について</p>		
	<p>(1) 空き店舗対策として、350万円を使って実施する買い物弱者の支援対策について</p>		
	<p>(要旨) 例えば、魚住町長坂寺県住周辺では店舗が閉鎖され、市民の高齢化とともに買い物難民化しつつある。現状の打開に向けた空き店舗対策を聞く。</p>		
<p>(2) 「子どもを産み・育てたいと思われるまち」の実現に向け実施される、乳幼児の任意予防接種に係る費用助成740万円の詳細について</p>			
<p>(要旨) 子育て応援施策として重要であるが、対象者及び助成内容について聞く。</p>			
<p>2 高齢化や地域のニーズを踏まえた公共交通の方向性について</p>			
<p>(1) 高齢化や地域のニーズを踏まえた公共交通の方向性について</p>			
<p>(要旨) 高齢化が急速に進む中で、たこバス等の公共交通の利用者も増加しているが、買い物や通院のために午前中だけでも増便できないか。また、介護施設に停留所を設けてほしい等の声もあるが、今後の公共交通のあり方について、どのように考えるのか。</p>			
<p>(2) 狭い道路や坂道の多い地域で、高齢者を初めとした交通弱者への支援について</p>			
<p>(要旨) 市内における交通弱者対策について聞く。</p>			
<p>3 小・中学校における空調設備の整備計画について</p>			
<p>(1) 空調設備の年次的な整備計画の策定について</p>			
<p>(要旨) 地球温暖化の影響や学力向上の観点からも、学校における空調設備の年次的な整備計画の策定が必要と考える。</p>			
<p>(2) 空調設備に関する財源確保について</p>			
<p>(要旨) 市の投資的経費がかさむ時期と思われるが、財源の確保は可能か。</p>			

発言順位	14	議員名	永井俊作(市民クラブ)
発言事項	1 原発事故対策と防災教育について		
	<p>(1) 原発事故の避難者の受け入れについて (要旨) 京都府宮津市の市民9, 132名の明石市への受け入れについてどのような協議をしたのか。また、受け入れの体制(施設や資機材、要員)はできているのか。</p> <p>(2) 放射能汚染検査や除染について (要旨) 放射能汚染の基準値はどう設定するのか。また、汚染検査や除染場所や要員はどうするのか。</p> <p>(3) ヨウ素剤の配布について (要旨) 高浜原発から約50キロ地点の篠山市は、2015年度、原発事故が発生した際に子どもたちの甲状腺の内部被ばくを防ぐために、ヨウ素剤を市民に事前配布するそうだが、明石市は検討しないのか。</p> <p>(4) 小中学校での防災教育について (要旨) 阪神・淡路大震災から20年経ち、震災の記憶が風化している。東日本大震災や福島原発事故についても風化させてはならない。関東地域と比較すると、防災や減災の意識や取り組みは弱い。小中学校で原発事故を含めた防災教育をすべきではないか。</p>		
発言事項	2 非正規労働者の激増による格差と貧困の拡大について		
	<p>(1) 「子どもを産み・育てたいまち」より「結婚できる社会へ」ではないのか。 (要旨) 明石市役所には、雇用期間3年の臨時職員が260人、5年の任期付職員が450人も勤務しているが、「低賃金と有期雇用のため先行き不安から結婚できない」との声についての認識を聞く。</p> <p>(2) 職員の健康破壊とモチベーションの低下について (要旨) 窓口部門や福祉部門等では非正規職員が急増し、正規職員の負担が重くなり、時間外勤務が恒常化している。1,800人体制は、メンタル疾患の増加や過労死につながるおそれがあり、職員のモチベーションも維持できないのではないか。</p> <p>(3) 明石市立保育所の臨時保育士・調理員等の処遇改善について (要旨) 保育所には、雇用期間3年の臨時保育士が110人おり、臨時保育士抜きに保育所の運営はできない状況である。民間委託している給食調理は時間給800円の調理員が働いて調理している。これで安全・安心な保育は実現されているのか。少なくとも、臨時職員の雇用期間を延長すべきである。</p>		

発言順位	14	議員名	永井俊作(市民クラブ)
発 言 事 項	<p>3 中学校給食の実施について</p> <p>(1) 早期実施に向けた取り組みについて (要旨) (仮称) 東部中学校給食センターを和坂の市交通部跡地に建設するには、産業廃棄物の撤去に約11億円かかる。藤江の卸売市場や八木の市有地でのセンター建設や自校方式並びに親子方式の併用で建設費を削減し、中学校給食の早期実施を目指すべきである。</p> <p>(2) 食育と地産地消について (要旨) 給食センターでは、県職員の栄養教諭の配置が削減され、市採用の栄養士は任期付職員なら5年で雇い止めとなり、食育が継続されない。7,000食もの大量調理では、地産地消の実施も難しいのではないかと。</p> <p>4 学力向上と教育環境の改善について</p> <p>(1) 子どもたちの学力向上対策について (要旨) 教員OBのスキルを活用し、複数担任制や教員の力量アップ、生活指導の強化を図り、子どもたちの学力向上を目指すべきである。</p> <p>(2) 教室へのエアコン整備について (要旨) 格差と貧困のため、教育格差も拡大している。基礎学力をつけるため、教室にエアコンを整備し、夏期や冬期等の補充学習に取り組めるようにすべきである。</p>		

発言順位	15	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事項	<p>1 介護保険制度改正後の本市の対応について</p> <p>(1) 要支援者及び二次予防事業対象者数のこれまでの推移と今後の見通しについて (要旨) 要支援者及び二次予防事業対象者数のこれまでの推移と今後の見通しはどうか。また、介護予防サービス及び地域支援事業の現状はどうか。</p> <p>(2) 新しい地域支援事業について (要旨) 新しい地域支援事業の受け皿となる組織と事業内容について、訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービス、それぞれについての本市の見解は。また、今後の任意事業についてはどうか。</p> <p>2 明石市に「道の駅」を</p> <p>(1) 明石市に「道の駅」を。 (要旨) 現在「道の駅」は独自のアイデアを出し、地域産業の振興と交流の拠点になりつつある。そのような状況の中、本市の持っている魅力や可能性と将来のあるべき姿を考えると、本市に「道の駅」を設置することを本格的に検討する段階に入っていると考えるが、市の見解はどうか。</p> <p>3 動物愛護について</p> <p>(1) 本市の動物愛護の現状について (要旨) 人と動物が幸せに暮らすための本市の施策について、現状はどうなっているのか。</p> <p>(2) 市民や団体などへの対応について (要旨) 捨て猫を保護するなど、動物愛護の活動を行っている市民や団体などへの対応はどうなっているのか。</p> <p>(3) 殺処分ゼロについて (要旨) 本市としても担当部署を設けるなど動物愛護に力を入れ、殺処分ゼロを目指すべきと考えるが、市の考えはどうか。</p>		

発言順位	16	議員名	新田 正彦(次世代明石)
発言事項	<p>1 戦後70年「平和首長会議」(以下「会議」という)加盟市の責務を果たそう</p> <p>(1) 被爆70年核廃絶へ、政治家泉市長の認識を問う。 (要旨) ①「会議」設立意義への認識は。 ②「会議」加盟の意図は。 ③被爆70年広島・長崎両市市長新年メッセージへの認識は。</p> <p>(2) 2020ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)への認識と本市の取り組みは。 (要旨) ①2020ビジョンの目標は。 ②「核兵器禁止条約」締結に向けた交渉開始等を求める市民署名活動の提起を。 ③「会議」未加盟都市への加盟要請を。</p> <p>(3) 戦後70年平和祈念事業の拡充を。 (要旨) ①原爆ポスター、資料展の開催を。 ②被爆体験証言の実施を。 ③被爆樹木の種や苗木の育成を。 ④アニメーション「つるにのって」、「はだしのゲン」等の上映を。</p> <p>2 介護保険制度施行15年の点検とこれからの道</p> <p>(1) 措置制度と介護保険制度の功罪について (要旨) ①利用方法と利用者負担は。 ②事務手続は。 ③介護現場の職員配置は。 ④憲法第25条の視点は。</p> <p>(2) 加算制度は「利用者本位」、「人間の尊厳」という社会的介護の理念に合致するか。 (要旨) ①加算制度導入の経緯は。 ②加算制度の事業者・利用者への影響は。 ③常勤医師配置・栄養管理体制・看取り等加算の実態は。 ④給付の1割負担原則との整合性は。</p> <p>(3) 長野県泰阜村の在宅福祉事業に学ぼう。 (要旨) ①必要な事業サービスは十分に提供する。 ②利用料1割負担のうち6割を村負担に。 ③電話1本でサービスはタイムリーに。 ④独居でも終末まで在宅で。</p>		

発言順位	17	議員名	北川 貴 則 (自由民主党明石)
発 言 事 項	1 福祉の充実について		
	(1) 保育所待機ゼロ策は実現するのでしょうか。 (要旨) 新年度、保育所待機児童ゼロ策について、これまでの経過もあわせて本市の方針をお聞かせください。		
	(2) 放課後児童クラブの待機児童は解消するのでしょうか。 (要旨) 子育て支援に対する本市の熱意をお聞かせください。		
	(3) 介護保険料負担増の前に、本市独自の努力としてどのように取り組まれたのでしょうか。 (要旨) より効率的な制度運用を図ることにより、保険料負担の軽減を図る取り組みも非常に重要で、高齢者の生活を保障する行政運営が必要ではないのでしょうか。財政難を理由とした保険料増の前に、本市独自の努力はどのように行われたのでしょうか、お聞かせください。		
2 樹林墓地について			
(1) 本年度の取り組みは。 (要旨) 本年度の取り組みと今後の運営方針について、お聞かせください。			
3 明石港の砂利揚げ場について			
(1) その後の取り組みはどのように行われたのでしょうか。 (要旨) 一体いつになったら明石港から砂利揚げ場が消滅するのでしょうか、お聞かせください。			
4 泉市政の問題点について			
(1) 弁護士会費について、その後の清算は済んだのでしょうか。 (要旨) 弁護士を任期付職員として採用した当初、弁護士会費を公費で負担していましたが、さまざまな指摘を受け、個人負担に変更されました。このことは当然のことですが、当初公費負担していた約80万円の弁護士会費は返還されたのでしょうか、お聞かせください。			

発言順位	17	議員名	北川 貴 則（自由民主党明石）
発言事項	<p>(2) (仮称) 東部中学校給食センター用地で発生した産業廃棄物処理に係る損失費用の責任問題は解決したとお考えでしょうか。</p> <p>(要旨) (仮称) 東部中学校給食センター用地で発見された産業廃棄物への対応で、既に支出した2億円近い公費が無駄になりました。このような事態を招いた責任は一体、だれにあるのでしょうか。貴重な市民の血税を無駄にして、「だれにも責任がない」ということでは市民の皆さんは到底納得しません。今一度、責任の所在を明らかにしていただきたいと思います。</p> <p>(3) 平成27年度組織改正での下水道管理課治水係の移管はなぜなのでしょう。</p> <p>(要旨) 平成27年度の組織改正で下水道管理課治水係の業務が土木交通部道路管理課に移管されるとのことですが、具体的にその理由をお聞かせください。</p>		
	<p>5 公務員の地位利用の防止対策について</p> <p>(1) 市職員が選挙活動や政治活動にその地位を利用して関与することの問題点とその防止策について</p> <p>(要旨) 市の認識と対策をお聞きかせください。</p>		

発言順位	18	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	1 国が取り組む地域の将来を担う若い世代の地方定着を促す奨学金返済の減免制度について		
	(1) 地方創生の一環である若い世代の地方定着促進のための奨学金返済の減免制度について		
	(要旨) 地域の将来を担う若い世代の地方定着を促すための、奨学金返済の減免制度について、市の見解をお聞きします。		
	2 自転車の交通安全対策の強化について		
	(1) 自転車保険の加入促進について		
(要旨) 歩行者と自転車の事故が増加する中、兵庫県は本年3月に自転車保険の加入を義務づける条例制定を予定している。高額な損害賠償事例も発生していることから、市は加入促進についてどのように進めていくのか、お聞きします。			
(2) 学校、各種団体における自転車交通安全教育及び啓発について			
(要旨) 自転車事故防止のためにも自転車の適正な利用に関する知識の習得が必要であり、学校や地域等において自転車関係法令に関する啓発等の取り組みをすべきと考えますが、市の見解をお聞きします。			
3 高齢者の元気づくり支援について			
(1) 高齢者の外出促進のための施設等利用クーポン券の配布について			
(要旨) 高齢者の元気づくり支援として、施設等を利用できるクーポン券を配布して外出を促進する取り組みをしないか、お聞きします。			
4 本町商店街への観光バス乗降場の設置について			
(1) 本町商店街に観光バスの乗降場を設置しないか。			
(要旨) 観光客の回遊性を考え、本町商店街に観光バスの乗降場を設置しないか、お聞きします。			

発言順位	19	議員名	梅田宏希(公明党)
発言事項	<p>1 (仮称) 明石市後見支援センターの運営について</p> <p>(1) 支援センターの開設準備と当初予算について (要旨) 4月に開設予定の施設整備と人的配置の準備はできているか。また、これらに関する当初予算の具体的な内容についてお答えください。</p> <p>(2) 後見・権利擁護等に関する専門相談の市民への広報について (要旨) 4月に開設する前に、市民に具体的な事例等を示して、広く理解していただくための広報についてどのように考えているか。また、センターの名称は市民公募も考えられるのではないか。</p> <p>(3) 市民後見人の養成等について (要旨) 支援センターを中心に後見支援を必要とする市民に寄り添う体制を確立するためには、多くの市民後見人の養成が必要であると考える。どのように養成計画を立てているのか、お答えください。</p> <p>(4) 今後の課題について (要旨) 後見支援ネットワークの形成はどうか。包括的権利擁護機能を構築するための方策はどのように計画しているか。</p>		
	<p>2 第6期介護保険事業計画について</p> <p>(1) 平成27年度から29年度の第6期介護保険事業計画について (要旨) 平成27年度は、10年後の地域包括ケアシステムの構築に向けたスタートの年となるが、第6期計画策定でポイントとなる改正点についてお答えください。</p> <p>(2) 住民やボランティアへの働きかけについて (要旨) 医療、介護、行政の取り組みは事業計画の中で策定できるが、大きな協力と理解を得なければならないのは地域住民である。基本理念である「地域で支え合い、安心して暮らせるまちづくり」の実現には住民の理解を得るための環境づくりがポイントになる。これを重視する取り組みについてお答えください。</p> <p>(3) 介護予防と健康づくりの推進について (要旨) 総事業費の見込額が平成27年度の196億円から平成29年度は225億円と増加の一途であり、介護予防と健康づくりの推進に全市をあげて取り組み、健康寿命先進都市を目指すことが総事業費の軽減につながる唯一の道である。</p>		

発言順位	19	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>3 市制施行100周年事業について</p> <p>(1) 市制施行100周年と明石城築城400年を「時のまち明石」として迎える準備委員会の設置について (要旨) 市制施行96周年の本年は、準備委員会設置の期限ぎりぎりの年度と考えるがその動きはない。明石市民にとってこの世紀の通過点を全市をあげて盛り上げ、次の世紀につなげる一大イベントと捉えるべきと考えるが、市長は施政方針で触れていないため、その認識をお答えください。</p> <p>(2) 市制施行100周年事業と市役所庁舎のあり方について (要旨) 市制施行50周年事業で建設した市庁舎が耐用年数を迎えている。本格的に耐震改修するのか、新庁舎を建設するのか判断する時期が迫っている。庁舎あり方検討会議の設置が喫緊の課題である。市としての認識をお答えください。</p> <p>(3) 公共施設の統廃合の観点から、市民センターの配置の認識について (要旨) 明石駅前南地区再開発事業、アスピア明石の利活用等を勘案し、5市民センター方式が市民の利便性、経費削減の上でも最適であると考えますが、市の考えをお答えください。</p> <p>4 先天性難聴の早期発見について</p> <p>(1) 先天性難聴者の実態と発見年齢について (要旨) 明石市の先天性難聴者の実態とその発見年齢について、どの程度把握しているか。</p> <p>(2) 早期発見に向けた取り組みについて (要旨) 先天性難聴者は、全国で1,000人に1人と言われているが、新生児で聴覚検査を受けているのは6割程度であり、できるだけ早く音を耳に入れることが大事である。</p> <p>5 明石市選挙管理委員会について</p> <p>(1) 「事務局職員のポスター撤去圧力」報道について (要旨) 統一地方選を目前にして、今回のような事案は明石市選挙管理委員会に対する市民からの信用を失墜させかねない。真相について、お答えください。</p>		